

非常持ち出し品リスト



いざというときにすぐに持ち出せるように、日頃から準備・点検をしておきましょう。

■一次持出品(例)

一次持出品は、地震が発生して避難するとき、まず最初に持ち出すべきものです。

- 【非常食】 カンパン、缶詰など火を通さなくても食べれるもの。ミネラルウォーター。缶切り、栓抜き、紙皿、紙コップ、水筒など。
- 【貴重品】 現金(10円硬貨があると公衆電話の利用に便利)、預貯金通帳、印鑑、免許証、権利証明など。
- 【携帯ラジオ】 予備電池は多めに用意。
- 【懐中電灯】 できれば1人に1つ。予備電池も忘れずに。
- 【救急医薬品】 絆創膏、傷薬、包帯、風邪薬、胃腸薬、鎮痛剤など。
- 【その他】 下着・上着などの衣類、タオル、生理用品、粉ミルク、紙おむつ、ウェットティッシュ、合羽、ヘルメット、ライター、ラップフィルム(止血や汚れた食器にかぶせて使う)など。



■二次持出品(例)

二次持出品は、災害復旧までの数日間(最低3日分)を生活できるように準備しておくものです。

- 【飲料水】 飲料水は1人1日3リットルを目安に。ペットボトルや缶入りのミネラルウォーター。また、防災タンクにためておく。
- 【食品】 米(缶詰やレトルト、アルファ米も便利)、缶詰やレトルトのおかず、ドライフーズ、チョコレート・アメなどの菓子類、梅干、調味料など。
- 【燃料】 卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料。
- 【その他】 生活用水(風呂や洗濯機に備蓄。幼児に注意して)、毛布・寝袋、洗面用具、ドライシャンプー、なべ、やかん、やかん、防災タンク(ポリタンク)、バケツ、各種アウトドア用品など。



※非常持出品は定期的に点検を!

いざというときに支障のないように、食品群の賞味期限や持出用品の不備を定期的に点検しましょう。

■避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具、スコップなど

■阪神・淡路大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備のメガネ・補聴器、ビニールシート、新聞紙などや、救助用具としてロープ、バール、ハンマー、のこぎり、車のジャッキ